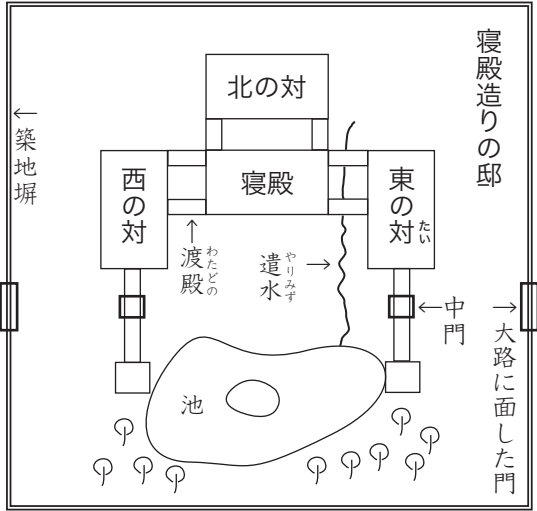
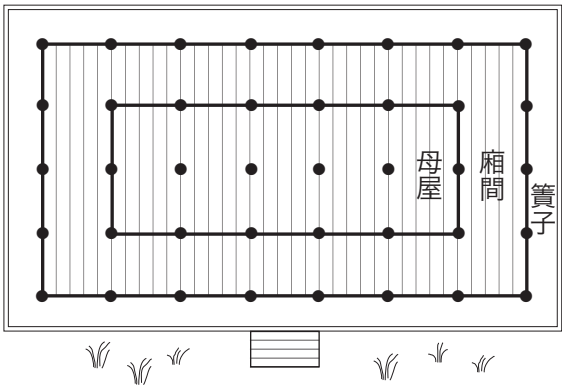


寢殿造りの邸



上流貴族の邸の敷地は一辺が約120m。この図は説明のための概念図であって、実際はいろいろであり、規模が小さいものも多かった。

柱の間隔は 3m 弱 (建物の規模によって変わる) 寢殿造りの建物の構造



すのこ (簀子) [名] 寢殿造り

りて廂の外側にある板敷の縁側。板を横にならべて雨露がはけるように間が少し透かしてある。

ひさしのみ (廂間) [名] 寢殿造り

りて母屋の外、簀子の縁の内側の部分。廂。女房は廂の間にいる。

もや (母屋) [名] 寢殿造り

で廂の間の内側にある部分。母屋は主人・北の方。姫君などの空間。参考図の母屋は五間四面。普通は七間四面。

バスケットコートは 15m x 28m

この図面 (五間四面) では 12m x 21m

普通の規模 (七間四面) では 12m x 27m